

MUJI 無印良品

広口で洗しやすい 保温保冷 スープジャー

**Wide-opening & Easy-to-wash
Insulated soup jar**

取扱説明書 (家庭用)

P2-P8

お買い上げいただきありがとうございます。

ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

そして、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。

●品質には万全を期していますが、万一不具合があった場合は、使用しないで、購入店、またはお客様相談室(P8)まで連絡してください。

ご注意とお願い

ご使用前によくお読みの上、必ずお守りください。

表示マークの意味について

製品を正しくご使用いただくために、誤った取り扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を以下の表示で区分しています。

 警告	死亡、または重傷を負うおそれがある内容を示しています。	 注意	軽傷、または物的損害を負うおそれがある内容を示しています。
---	-----------------------------	---	-------------------------------

図記号について

 禁止	してはいけない内容(禁止)を表しています。	 必ずおこなう	必ずお守りいただく内容を表しています。
---	-----------------------	---	---------------------

使用上の注意

警告

- ① 乳幼児の手の届くところに置かないでください。また、お子様のいたずらには十分ご注意ください。ヤケドやケガの原因となります。
- ② 自動車の運転中は使用しないでください。
(ヤケドをしたり、車内や衣服を汚す原因となります。また運転者の場合、運転への注意が散漫となり、非常に危険です。ドリンクホルダーに入れる場合は、あらかじめホルダーの強度を確認してからご使用ください。強度や固定が不十分だと破損したり、外れて落下するおそれがあり危険です。)
- ③ 熱い飲食物を入れた直後、本体を振らないでください。内圧が急に上がり蓋が開けにくくなったり、開ける時、音がしたり、蓋が飛んだり飲食物が吹き出すなどして、ケガや周りのものを汚す原因となります。
- ④ 熱い飲食物を入れ、長時間放置しないでください。内部が減圧され蓋が開けにくくなったり、開ける時、音がする場合があります。
- ⑤ ご使用の際は、必ず大・小2つのパッキンを正しく取り付けてください。正しく取り付けていないと中身が漏れたり、パッキンの脱落・誤飲の原因となります。

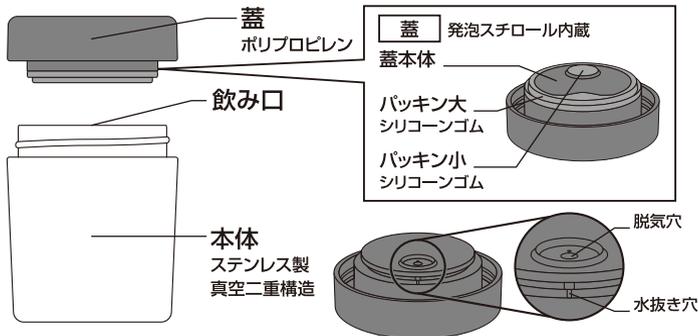
注意

- ① ご使用前に、各部品がそろっていることを確認してください。
- ② 商品に破損やガタツキ等がないか、安全を確認してから使用してください。
- ③ 初めてご使用する前に、食器用中性洗剤をつけたスポンジでよく洗浄し、流水でよくすすいで水気を拭き取り、乾燥させてください。
- ④ 次の物は絶対に入れないでください。
 - ・ドライアイス、炭酸飲料(内圧が上がって蓋が開かなくなったり、飲食物が吹き出した時、蓋が飛んだりすることがあり危険です。)
 - ・牛乳、乳飲料、生ものなど、発酵・腐敗しやすいもの(腐敗したり、異臭の原因となります。腐敗した飲食物を食べて体調不良の原因となります。また、そのまま長く放置した場合、ガスが発生して内圧が上がると、蓋が飛んだり飲食物が吹き出すなどして、ケガや周りのものを汚す原因となります。)
 - ・お茶の葉や果肉等は、パッキンなどの隙間に入ると漏れの原因となります。隙間に入っていないことを確認してご使用ください。

- 種類に関わらず、飲食物を本製品に入れたまま長時間保管しないでください。腐敗したり、異臭の原因となります。また、そのまま長く放置した場合、ガスが発生して内圧が上がり、蓋が飛んだり飲食物が吹き出すなどして、ケガや周りのものを汚す原因となります。
- 真空二重構造の内部から水の音がする場合は使用しないでください。
- 飲食物を本製品に入れたまま本体や蓋を温めないでください。内圧が上がり、蓋が飛んだり飲食物が吹き出すなどして、ケガや周りのものを汚す原因となります。
- 保温保冷効果が極端に低下した時は使用しないでください。
- 熱いやかんや鍋などを飲み口に触れさせないでください。転倒してヤケドなどの危険があります。またキズや変形の原因となります。
- 落としたり、ぶつけたり、強い衝撃を与えないでください。変形したり、真空漏れになり、保温保冷効果の低下など破損の原因となります。
- 蓋を開けたまま放置しないでください。転倒して飲食物がこぼれ、ヤケドや周りのものを汚す原因となります。
- 電子レンジでは使用しないでください。電子レンジが故障したり、ケガや本体が変形して中身が漏れる原因となります。
- 直射日光を避け、自動車の中など高温になる所に放置しないでください。保温保冷効果が落ちる原因となります。
- 冷凍庫に入れないでください。飲食物が漏れたり破損する原因となります。
- ストープやコンロ等の火のそばに近づけないでください。本体の変形や変色の原因となります。
- 飲食物の保温保冷以外に使用しないでください。
- 改造・分解・修理をしないでください。破損の原因となります。
- 蓋を確実に閉めてください。熱い飲食物が漏れるとヤケドをするおそれがあり危険です。
- 飲食物は早めにお召上がりください。
- 飲食物は一度にお召上がりください。
- 湿気や湯気により、蓋の内側に水滴が付く場合があります。その場合は乾いたふきん等で拭き取ってください。
- 熱い飲食物を入れた場合、食べたり飲んだりする際、ヤケドをしないようご注意ください。(断熱効果により、熱い飲食物を入れても本体外側は熱くなりません。)
- パソコン、デジタルカメラ、携帯電話等の精密機械と一緒に持ち運ぶのはやめてください。万が一飲食物が漏れた場合、精密機械破損の原因となるおそれがあります。
- 本品はなるべく立てた状態で置いてください。バッグ等に入れる際も、漏れを防ぐために、なるべく縦に入れるようにしてください。横に倒すと、中身が漏れる場合があります。また、不安定な状態や場所での使用は避けてください。
- 蓋、および大・小2つのパッキンは消耗品です。使用開始後半年から1年を目安にご確認ください。
- 樹脂部分に線状や波状の箇所がある場合がありますが、樹脂成形時に発生する跡で、使用上の品質に支障はありません。

各部の名称

説明書中のイラストは、実際のものとは異なる場合があります。



パッキンの取り付け方

蓋のパッキンをお手入れなどで取り外した後は、次の内容を読んで正しく取り付けてください。パッキン大を誤って取り付けますと、飲食物が漏れる原因となります。また、パッキン小が外れた場合、誤飲の原因となります。

蓋のパッキン

蓋の本体に蓋のパッキン大・小を上下の向きが正しくなるよう注意して取り付けます。

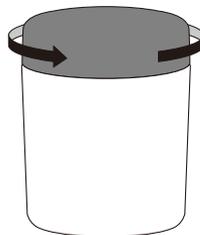


ご使用方法

ご使用前に本体内側や蓋などを食器用中性洗剤でよく洗浄してからご使用ください。

1. 本体から蓋を外す

本体から蓋を反時計回りに回して外す。



ご使用方法

つづき

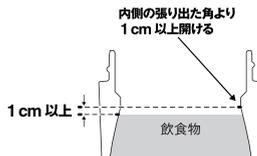
2. 飲食物を入れる

※あらかじめ少量の湯(冷水)を入れ、1分程度予熱(予冷)すると保温(保冷)により効果的です。

- ① 飲食物の量は図の位置までにしてください。入れすぎると、蓋を閉めるとき飲食物があふれたり漏れたりする原因となります。

※飲食物を入れすぎた場合は、少し減らしてから、元通り蓋を閉めてください。

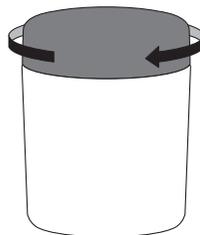
⚠注意 漏れ、ヤケドにご注意ください。



3. 蓋を閉める

蓋を時計回りに回して閉める。

- ① 大・小2つのパッキンは必ずセットしてください。パッキン大をセットしないと漏れる原因となり、パッキン小が外れた場合、誤飲の危険性があります。
- ② 蓋は確実に閉めてください。



4. 飲食物を食べる・飲む

- ① 本体を立てた状態で蓋を反時計回りに回して外す。

⚠注意 沸騰した熱湯を入れた場合、ボトル内圧が上がり、吹き出すおそれがあります。

- ② 傾けた状態・顔を近付けた状態で蓋を開けないでください。特に沸騰させた飲食物を入れるとボトル内部の圧力が上がり、飲食物が急激に出たり、飛散したりして、ヤケドの原因となります。

- ③ 飲み口に口をつけてゆっくり傾けながら飲食物を食べたり飲んだりしてください。

⚠注意 急に傾けると飲食物が勢いよく出ますので注意してください。

⚠注意 熱い飲食物を入れた場合、飲み口付近が熱くなっていることがあるので注意してください。

(断熱効果により熱い飲食物を入れても本体外側は熱くなりません。)

5. 使い終わったら蓋を閉める

本体を立てた状態で蓋を時計回りに回して閉める。

お手入れ方法

ニオイや汚れを防ぎ、いつまでも清潔にご使用いただくために、ご使用後は早めにお手入れをしてください。

- ① 使用後は、すぐに洗浄・乾燥させてください。
汚れや水気を付着させたまま放置しないでください。サビが発生する原因となります。特に、みそ汁・スープなど塩分を多く含んだ飲食物を入れた場合は、念入りに洗浄してください。
- ① 食器用中性洗剤をつけたスポンジでよく洗浄し、流水でよくすすいで水気を拭き取り、乾燥させてから保管してください。汚れや水気を付着させたまま放置しないでください。サビの原因となります。
- ① 本体だけでなく、蓋、大・小2つのパッキンもよく洗浄して乾燥させてください。水だけの使用でもヌメリやカビが発生する場合があります。
- ① パッキンを外して洗浄する際は、必ずパッキン大・小を同時に外して洗浄してください。蓋内部に入った水は、水抜き穴から排水できます。洗浄後はよく乾燥させてください。
- ① シリコンの特性上、ニオイの強い飲食物を入れると、パッキンにニオイが移ることがあります。

部品名	洗い方	お手入れ方法
蓋	○ 流水洗い × 浸け置き洗い × 漂白剤	本体から、蓋を外し、それぞれきれいに洗浄し、水分を拭き取って、十分乾燥させてください。 ※パッキンも取り外して洗浄することができます。 パッキンの間に飲食物が残っているとカビやニオイの原因となります。 お手入れの後は、大・小2つのパッキンを正しい位置に確実に取り付けてください。
本体	○ 流水洗い × 浸け置き洗い × 漂白剤	きれいに洗浄し、汚れを落とした後、流水でよくすすぎ、十分乾燥させてください。

お手入れ上の注意

お手入れ前によくお読みの上、必ずお守りください。

- ① 本体・蓋は煮沸しないでください。
※熱により部品が変形し、漏れてヤケドや周りのものを汚す原因となります。
- ① 食器洗い乾燥機は使用しないでください。
※熱により部品が変形し、漏れてヤケドや周りのものを汚す原因となります。
※水が浸入しサビが発生したり破損の原因となります。

お手入れ上の注意

つづき

- ① 蓋、および本体は水中に放置しないでください。
※蓋の内部や本体と底のすきまに水が浸入し、サビや保温保冷不良などの原因となります。
- ② 鉄やアルミなどの異種金属と接触させたまま放置しないでください。
- ③ シンナー・ベンジン・化学ぞうきん・金属タワシ・みがき粉・クレンザーは使用しないでください。
※サビやキズなどの原因となります。
- ④ 漂白剤を使用しないでください。
※サビや腐食による破損の原因となります。
※破損により保温保冷不良などの原因となります。
- ⑤ 洗淨した蓋に水が残らないよう数回ふり、拭き取ってください。
※残った水が漏れてくることがあります。

こんなときは…

以下の項目をお確かめください。

不具合	原因	対処方法
本体内側が 変色した	斑点状の赤いサビが付着している	水に含まれる鉄分などが付着したものです。食酢を10%程度入れたぬるま湯を本体に入れ、約30分後によく洗淨してください。
	ザラザラしたものが付着している	水に含まれるカルシウムなどが付着したものです。クエン酸を10%程度入れたぬるま湯を本体に入れ、蓋を取り付けずに約3時間後によく洗淨してください。

長期間で使用にならないときは

- ① よくお手入れをして汚れを落とし、十分に乾燥させて高温多湿をさけて保管してください。

